

マスタープラン評価（スポーツ振興課 内部評価）

	基本施策	評価	コメント	個別施策	実施の有無 (評価)	コメント
1-1	スポーツ拠点施設の整備・充実	C	指標にある公共施設適正配置計画策定に至っていないが、市の実施計画などによる計画的修繕は行っている。	計画的な施設の整備・改修 施設の長寿命化の推進	C C	実施計画に掲げ、整備・改修を実施していく。 計画的な修繕により長寿命化を推進していくため、今後においては長寿命化計画策定を視野に入れる。
1-2	既存のスポーツ施設の適正配置(スリム化)	C	同上	施設の再編検討	C	公共施設再編課と協議中。
1-3	学校施設や民間施設などの有効活用	B	個別施策により評価	学校体育施設の有効活用 企業等民間施設の有効活用	A D	学校開放による積極的な活用を推進している。 今後とちぎ国体の会場が予定されている民間施設があるので、企業等との連携を推進していきたい。
2-1	市民が利用しやすい施設づくり	B	個別施策により評価	利用者の視点に立ったスポーツ施設の運営検討 スポーツ施設のバリアフリー化の推進とアクセスフリーの向上	B A	学校開放における利用者調整会議の実施 つが総合運動公園での手すり・スロープの設置などを実施した。
2-2	施設の適正な維持管理の推進	C	個別施策により評価	適正かつ計画的な維持管理の推進	C	維持管理については今後2年の実施計画により行っている。今後は長期の維持管理計画(指針)などを策定し長期にわたる計画的な維持管理を目指したい。
3-1	総合型地域スポーツクラブの設立・育成	C	策定時4、現状値4。目標値6を目指すために地域実情の再調査や指導者の育成も必要であり、長期的なスパンで進めていきたい。	総合型地域スポーツクラブの設置・育成などの推進	C	既存クラブへの運営協力をしている。今後新設を視野に入れた指導者育成を進めていきたい。
3-2	スポーツ団体への活動援助	C	体育協会に「なぎなた専門部」が新規加入したが、大きな人員増は無いと思われる。	スポーツ団体・サークルなどの充実と支援	C	各専門部に担当者を配置し支援・協力をしている。今後は更に事業の周知などに深く関わってきたい。
3-3	スポーツ団体の自立化支援	D	策定時・現状値1変わらず大平ネットのみ。今後法人化を望む団体には必要な情報の提供を行い法人化への協力に努めたい。	NPO法人化に関する相談・情報提供など	D	実績がないため検討中と評価したが、団体から相談があった際は対応と情報の提供を行い、法人化への協力を積極的に行っていく。
4-1	スポーツ選手・団体の育成・支援など	C	指標は意向率調査を要するため指標の評価は次期見直し時に評価する。単位施策により現状維持と評価。	スポーツ選手の発掘・育成・支援 スポーツ団体・体育関連団体への支援	C C	既存事業により少年・中高年スポーツを支援しているが、今後はFMへの出演機会の提供や育成機会の情報提供を進めていきたい。 事業の協力・補助金の交付を行っており、今後は更にスポーツ推進につながる新たな事業の構築を目指したい。
4-2	競技力向上に向けたスポーツ環境の整備	C	スポーツリーダーバンクへの登録者数は、指標策定時46、現状48。目標60に向け今後も指導者の登録を進めていく必要がある。	指導力の向上と支援体制及び拠点の充実 スポーツ選手・団体の表彰制度の検討	C B	事業の協力・補助金の交付を行っており、今後は指導者養成事業への積極的な参加の促進を目指したい。 体育協会で実施している。
4-3	スポーツ指導者の育成と登録制度	D	指標は上の再計だが本市では制度の構築まで至っていない。登録制度の構築より既存制度の周知から始めたい。	スポーツ指導者の人材育成 スポーツ指導者等の登録制度の構築	C E	スポーツ推進委員に研修への参加促進を進め、新たなレクリエーションや健康づくりなど活動に還元していける人材を育てていきたい。 県に登録制度があるため、この制度の周知により制度利用を促進していきたい。
5-1	地域のスポーツ交流の場の確保と機会の提供	B	指標の参加者数は現時点で未確定であり、次期計画見直し時に示したい。よって、単位施策により評価。	コミュニティスポーツの推進	B	地域の体育祭の開催している。また地域の広場の維持管理を行い、地域のスポーツ・コミュニティ促進に努めている。
5-2	国際スポーツ交流の促進	B	29年度は新たに日独交流事業を実施した。	スポーツを通じた国際交流の推進	B	H28年度に国際交流協会の地域体育祭への参加、H29年度に日独スポーツ少年団の交流事業の開催により、国際スポーツ交流を実施した。
5-3	地域間のスポーツ交流の促進	C	参加者数は現状維持だが種目の見直しを行った。また、単位施策では友好姉妹都市との連携は未着手であり、今後一つ一つ進めてまいりたい。	全市的なスポーツ大会の充実 友好・姉妹都市との連携	A E	ウォーキング大会・市民スポーツフェスティバルを実施している。 まずは姉妹都市である滝川市のスポーツ担当者とのコンタクトを取ることから始めていきたい。
6-1	スポーツツーリズムの推進	B	ウォーキング大会の申込者の増加・ツール・ド・とちぎ、たびらフルーツライド、遊水地での各種スポーツ等の実施。	観光スポーツの参加機会の提供 観光スポーツ関連宿泊施設の確保	A E	ウォーキング大会、遊水地スポーツを実施している。 国体での宿泊施設なども課題であることから今後観光振興課と連携し、宿泊施設のデータベースの作成を行っていく。
6-2	トップレベルのスポーツ大会や関連合宿などの誘致	B	策定時26、目標50、現状約15(冬の部未確定)と指標はダウンしたが、とちぎ国体の準備中であり今後増加する見込みである。	トップレベルのスポーツ大会の開催・誘致 多様なスポーツ合宿の誘致	B C	2022年とちぎ国体の開催地として準備中。 東京五輪ハンガリー選手団のプレキャンプを受入予定。
7-1	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	C	指標よりも単位施策が多いのでそれらにより判断する。	幼少期からの子供の体力向上方策の推進 学校体育に関する活動の充実 身近なスポーツ活動の推進 高齢者・障がい者スポーツの普及 スポーツにおける安全性の確保	C C C B C	スポーツ少年団の育成、少年スキー教室等少年スポーツ事業の支援・実施している。今後新たなメニューを増やしていきたい。 2020東京オリ・パラリンピックの開催に伴い、市内小学生を対象としたオリンピック招聘事業を学校教育担当部署と連携して実施する予定で進めている。 地域の体育祭、地域の広場での活動を今後も継続し、より充実したものになるように協力していきたい。 中高年スポーツ事業として古希還暦野球、グラウンドゴルフ大会などを実施している。 指導者への安全研修の紹介を実施しているが、スポーツ医学の講習会の開催などを新たに推進していきたい。
7-2	スポーツのきっかけづくりと観戦機会の確保	C	指標は意向率調査を要することから、単位施策により評価する。	スポーツイベント・教室の充実 スポーツボランティアの推進 多様なスポーツ観戦機会の充実	B D C	アンケートでも満足度が高く、今後も継続していきたい。 スポーツに固執したボランティア団体の育成ではなく、とちぎ高校生蔵部など既に市内で活躍するボランティア団体の登用を検討していきたい。 市のHP等での市内外のスポーツイベントの情報発信を強化して行きたい。
7-3	自然とふれあう体験型スポーツの推進	A	ウォーキング、遊水地スポーツなどの事業を実施済。	野外活動やスポーツレクリエーション活動などの推進	A	ウォーキング、遊水地スポーツなどの事業を実施している。
8-1	スポーツ情報システムの充実	B	情報ネットワークの活用は今後さらに増やしたい。	スポーツ情報提供ネットワークの充実 スポーツ施設利用システムの整備・充実	B C	体育協会によるコミュニティFM番組を開始した。 予約検索システムでの対応している。今後、未対応の施設への導入を進めていきたい。
8-2	PR活動の推進	C	市の広報・公式HP/FBの活用、マスコミへの情報提供、FMとのタイアップを実施。これにとどまることなく更なる充実を目指していく。	情報提供内容の充実 多様な情報提供手段の充実	C B	市の広報・公式HP/FBの活用、マスコミへの情報提供、FMとのタイアップを実施。更なる充実を目指したい。 新たなツールも増えたが更なる充実を目指したい。
		70			124	